

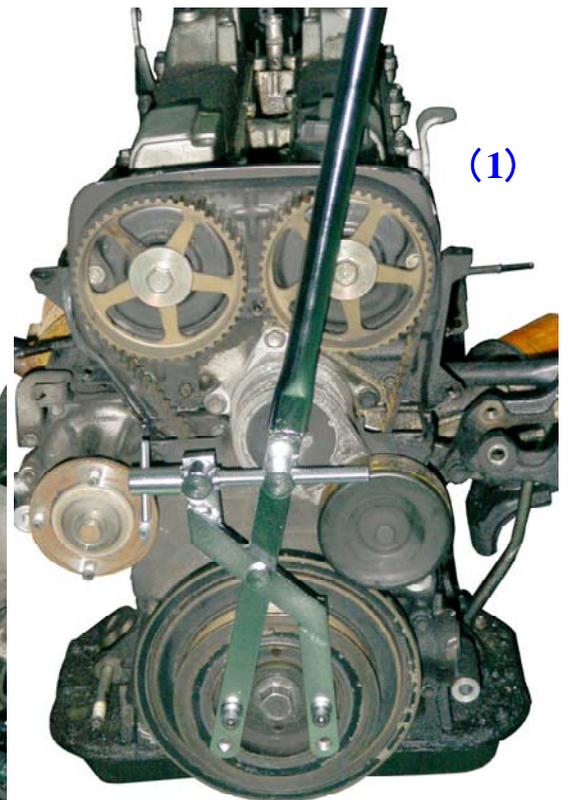
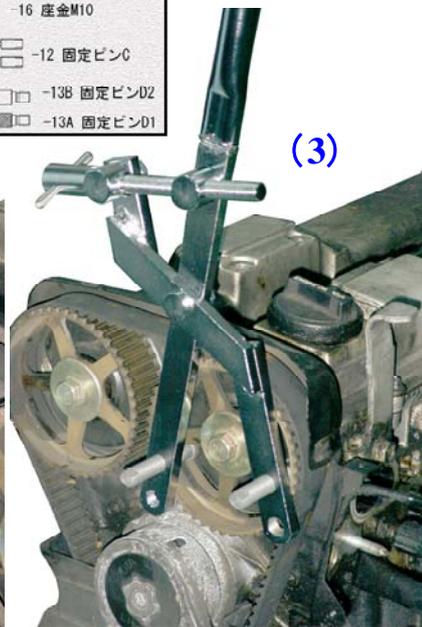
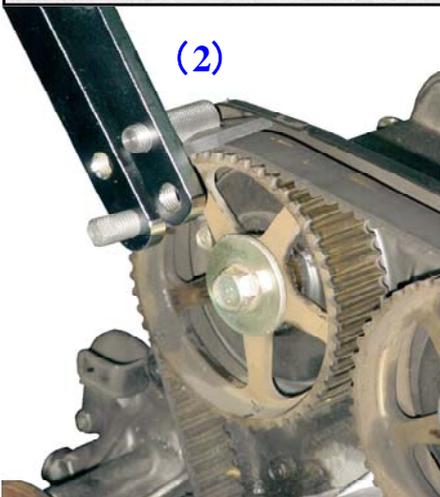
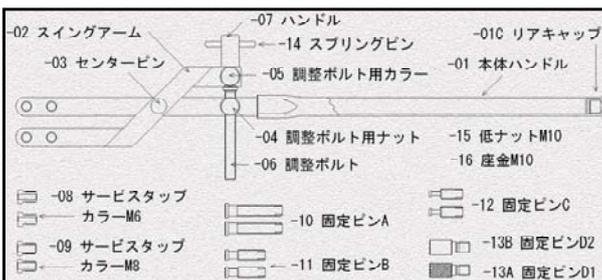
プーリースピナーレンチ

- カムシャフト、クランクシャフトなどのタイミング調整時、ベルト掛け時、プーリーを回転させることができます！
- プーリーの固定（供回り防止）にも使用できます。ピンの位置をロックできますので、外れにくく作業もスムーズです！

適応範囲 24 mm～170 mm
 固定ピン φ7.5 φ12 φ16 各2本
 汎用ピン φ16 2本(1本はローレット付)
 タップガイド M6/M8用各2ヶ
 全長 約 673 mm

頻度の高い、カムシャフトシール交換時に活躍します。カムプーリー固定ボルト締め付け時、プーリーをきちんと保持していないと、バルブがピストンに干渉して損傷します。また、FF車などのタイミングマーク合わせ時、タイヤハウスにもぐっては出てといった苦労が解消します。

強力型



使用法

- (1) 固定ピンまたはタップガイドは、プーリーの形状に合わせて、サイズおよび用途に合ったものに差し替えて下さい。通常は、本体の先端ではなく、ひとつ手前の取付ネジに差し、本体先端部がプーリーの面にあたるようなセッティングが、最も安定した作業を可能にします。(写真1)
※汎用ピンをベルトの上にかける場合は、厚手のゴムシートなどを挟んで、ベルトおよびプーリーのリムを保護してください。(写真2)
- (2) 固定ピンをプーリーの穴または隙間に差し込み、ハンドルを調整して、安定するように外または内側に張らせませす。
- (3) 固定ピンをネジ戻しながら、先端凸部が裏面の適当な場所のに引っかかり、抜け止めとなるように調整します。(写真3) タップガイドを使用の際は、お手持ちの適当なサイズのボルトを使用し、ガタつかないように固定します。
※プーリーの肉厚が薄い場所や、材質が弱い場所に使用すると、プーリーを傷めますのでご注意ください。
- (4) 固定ピンおよび汎用ピンの、サイズや取付位置を考えて、最も安定した状態で作業を行ってください。同サイズのピンをペアで使用する必要はありません。クランクプーリーなどの回り止めに使用の際は、最大トルク 300N・m を限度としてください。